先進地から学ぶ

委員会視察研修

施策は人！を実感

総務文教常任委員会

【目的】
- まちづくり基本条例
  - ㋑ 行政評価制度
  - ㋑ 予算編成過程での情報公開
  - ㋺ 発達障害児の早期発見、早期支援の在り方

【日程】5月11日～12日

【視察先】
- ㋑ 京都府京丹後市
- ㋺ 滋賀県日野町

京丹後市は2004年4月に6町合併で市となりそれを契機とし、まちづくり基本条例を制定。市民で組織する「条例制定をすすめる会」は18歳以上の市民で構成、副会長に高校生が選出されるなど、より多くの市民参加で策定された。

予算編成過程の情報公開については、編成過程をホームページ上で公開、市民の要望、意見を反映させる取り組みが行われている。自治区ごとにまとめられた予算要求を、確定前に査定し結果を回答する。職員が地域に入り話し合う場もでき、意識も変わったと話された。

総合計画で体系化した政策・施策・事務事業の評価を一次、二次は内部、三次は評価委員会による外部評価がなされ、行政の透明性を確保し、説明責任が果たされていた。

日野町では、学校教育課の窓口に正職の臨床心理士を配置し、子育て支援を切り口に、ソーシャルワークの視点を生かし、発達障がい児の早期発見、早期支援がなされていた。関係機関との連携で、児童・生徒、保護者に適切なカウンセリングなどの取り組みが行われている。参考になる事例であり、施策に生かしていきたい。

▲京丹後市での研修

開かれた議会に向けて

議会運営委員会

【目的】
- 議会基本条例の策定

【日程】4月26日～27日

【視察先】
大阪府熊取町
京都府精華町

条例を制定し4年目となる熊取町では、毎回定例会が終わると15人の議員が、3班に分かれて議会報告会を行っている。

また、自由討議なども活発に行なわれ、議会の活性化や開かれた議会の取り組みが進んでいる。

精華町は会派制で7つの会派からそれぞれ一人づつ選出した検討委員会を設置し、骨子案を策定。町内5小学校区毎に住民との意見交換会を実施。

実施にあたっては区長へお願い文章を作り、議員自ら説明を行った。

行政との協議、全国議長会での指導も受け、昨年3月に制定。

条例関係施行については規定を策定。

議会報告会などの活動に向け動き出すとのことである。

これらを参考にしながら、本町においても条例制定までのプロセスをしっかり行い、策定へとつなげたい。

▲熊取町での研修風景

▲かじか健康公園（佐世保市世知原）

健康増進にボタ山跡地を利用

志鉱跡地対策特別委員会

【目的】
- ボタ山跡地自然活用型の開発推進

【日程】5月27日

【視察先】
長崎県佐世保市
炭鉱資料館
かじか健康公園

初めて志免・須恵・粕屋3町ボタ山協議会委員で視察研修を行なった。

資料館は、県の有形文化財で、当時炭鉱に勤めていた方から掘削、運搬の様子など貴重な体験談を聞くことができた。

ボタ山跡地は、閉山から40年以上が経過し、木々が生い茂り、ボタ山跡地とは思えない状況でした。かじか健康公園として整備され、ふもとから山頂まで555段の階段なども作られ、市民の健康増進に利用されている。

今回の視察は、ボタ山開発の基本方針である自然活用型の開発推進をしていく上で大変参考になった。

また、3町の委員の共通認識を深めることができた。

議会あれこれ

議会改革の柱 志免町議会基本条例 策定 最終段階へ！

地方分権・主権が叫ばれる中、地方自治の運営を行う二元代表制の一方である議会の改革が、全国的に語られ、その象徴として、議会と議員が果たす役割を明文化する「議会基本条例」の策定が進んでいます。

志免町議会も、一昨年から議会運営委員会で素案づくりに取り組んでまいりました。

また議員も視察研修や全国学会・シンポジウムへ参加し研鑽してまいりました。

今年5月29日には、福岡市で開催されたシンポジウム「九州から始まる 見える化・議会 市民と議員の条例づくり交流会議in九州」に（参加総数350名、議員は全国から70近い議会・160名の議員、古賀粕屋地区からは7議会・36名の議員が参加）志免町からも議員研修として8名の議員が自由参加いたしました。

これだけの議会・議員の参加を見ても議会改革、基本条例の必要性と関心の高さが伺えます。

8月には、町民の皆様との意見交換会も開催いたします。（8－2掲載）

いよいよ制定是非を含め最終段階となります。

皆様のご意見を心からお待ちいたしております。

（記・議長・古庄）

▲5月29日・福岡市パピヨン24でのシンポジウム「九州から始まる 見える化・議会」

※議会へのご意見をお待ちしております
◆議長へのメール：simegityo@yahoo.co.jp